

1. 事業名称 子育て支援ネットワークづくり 事業

2. 実施主体

- 団体名： 松戸子育てフェスティバル実行委員会
- 事業担当課： 子育て支援課

3. 取り組もうとする課題（テーマ）と事業

■ 取り組む課題

◆ 子育て支援団体の連携強化

フェスティバルや養成講座といった具体的活動の準備を通じ、各団体がお互いの活動に対する理解と信頼関係を深めることができます。信頼関係は、一朝一夕に築けるものではありません。維持するための工夫や努力もたゆまず続けていく必要があります。

◆ 子育て支援サービスを、必要とする人に広く細やかに届ける

松戸市内では、さまざまな子育て支援サービスが提供されています。しかしながら、せつかくの多様な活動も、必要とする人が必要とする時になかなか届けきれません。フェスティバル用のパンフレットを増刷し市民に配布することで、「窓口」を広くできます。

■ 事業

◆ 下記3つの事業を実施します。

- ① 子育て支援者のための養成研修
- ② 子育てフェスティバルの継続実施
- ③ フェスティバル・プログラムを作成・頒布

参加団体のPR枠を拡大し、子育て中の市民に詳細な情報を提供する。

◆ 具体的な事業の遂行にあたっては、実行委員会体制を整備し、これにあたります。

4. 事業目的と成果目標

私たちは、子育て支援を行っている団体等の情報の共有化と協力関係の構築を図りネットワーク化を推進し、子育て中の市民を支援する事業を実施することを目的としています。平成17年に、構成メンバー7団体で試行的にミニ・フェスティバルを実施し、以来、活動を継続しています。

事業を継続的に実施することで、支援団体同士がそれぞれ本来の業務においても協力・連携が深まってきました。メンバー同士、顔の見える関係に発展してきた成果と思います。

支援者の連携が広がりまた深まることで、子育てをしている保護者が多様な支援を受けることができるようになります。

3. 協働の意義

子育て支援の担い手は、実績のある保育園や幼稚園を核としながら、徐々に NPO やボランティアなど広がりつつあります。また社会福祉協議会も、街づくりや地域福祉の観点から子育て支援活動に力を入れ始めました。しかしながら全体的には、まだまだ行政主導でその力に頼らざるを得ないという課題もあります。

これらの歴史や背景、組織体力もさまざまな団体がその違いを認め合い、共に活動を続けることに、大きな意義があると思っています。活動を重ねるうちに、互いの活動への信頼が高まり、ゆるやかなネットワークが築かれていくことでしょう。

6. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

- ◆事業の企画・運営
- ◆子育て支援団体のネットワーク組織運営

■ 市の担当課の役割

- ◆子育て支援課
- ◆子育て関連部署が実行委員として参画しやすいよう、調整
- ◆会場の確保、広報

7. 事業の具体的なスケジュール

- | | |
|-------------|---|
| 平成 22 年 6 月 | 運営委員会開催、イベント趣旨確認、年間スケジュール・予算案作成
以後毎月 1-2 回開催／市役所 |
| 7 月 | 実行委員会開催、上記協議、支援者養成講座企画
以後隔月 1 回程度開催／ふれあい 22 |
| 11 月～ | 子育て支援者のための養成講座実施（計 3 回程度）／聖徳大学 |
| 平成 23 年 2 月 | 子育てフェスティバル実施、支援者同士の交流／ふれあい 22 |
| 3 月 | 報告書作成、反省会（来年に向けて）／市役所 |

8. 将来の展開

子育て支援を行っている団体同士で情報を共有化し協力関係を重ねることが、ネットワークづくりだと考えます。それぞれの団体が有機的に結びつくことで、子育て中の市民が抱える課題を、多面的に支援できることを願ってやみません。

今後も協賛金を募りあるいは参加費を拠出し、継続的に実践を重ねていきたいと考えています。具体的に実施する事業については、フェスティバルや講座にこだわらず、実行委員会で検討していくこととなります。

事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

	（自己資金）	金 額	積算内訳
	提案者	協賛金	450,000 円
利息		400 円	
参加費		49,600 円	実行委員各団体より
自己資金合計（a）		500,000 円	
労力換算額計（b）		255,000 円	
市	負担金申請額（c）	500,000 円	
資金合計額（d）（a+c）		1,000,000 円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項 目	金 額	積算内訳
負担金の交付対象経費	外注印刷物	400,000 円	チラシ8000部、ポスター300部 パンフ3000部、報告書1000部
	講師謝金	150,000 円	@30,000×5人（講座）
	消耗品	100,000 円	スタッフジャンパー他
	通信費	10,000 円	切手代その他
	保険料	15,000 円	
	支払い手数料	80,000 円	駐車場管理指導
	イベント講演料	100,000 円	フェスティバル講演
	対象となる経費合計額（e）		855,000 円
その他経費	交通費	40,000 円	学生ボランティア
	お弁当代	40,000 円	学生ボランティア
	交流会茶菓	60,000 円	フェス後交流会約300名分
	予備費	5,000 円	
	その他経費合計額（f）		145,000 円
事業費（g）（e+f）		1,000,000 円	収入合計額（d）と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にしてください。

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間×回数×500円
	フェス事務局会議 (10回)	50,000円	5人×2h×10回×500円
	フェス運営委員会 (6回)	60,000円	10人×2h×6回×500円
	フェス実行委員会 (5回)	100,000円	20人×2h×5回×500円
	講座運営 (3回)	45,000円	10人×3h×3回×500円
	合計 (b)	255,000円	